

健診体系の見直しについて

令和7年度
健康保険委員研修会

目次

1. 生活習慣病予防健診について

(令和8年度以降もご利用いただけます。)

2. 令和8年度以降の健診体系の見直しについて

目次

1. 生活習慣病予防健診について

(令和8年度以降もご利用いただけます。)

2. 令和8年度以降の健診体系の見直しについて

1. 生活習慣病予防健診について

生活習慣病予防健診とは？

生活習慣病の発症や重症化の予防を目的とした血液検査や尿検査、がん検診等、被保険者(ご本人)に受けていただく健診です。



生活習慣病
予防健診で
調べること

● 血圧測定

▶ 血圧を測り、循環器系の状態を調べます

● 尿検査

▶ 腎臓、尿路の状態や糖尿病等を調べます

● 便潜血反応検査

▶ 大腸からの出血を調べます

● 血液検査

▶ 動脈硬化、肝機能等の状態や糖尿病、痛風等を調べます

● 心電図検査

▶ 不整脈や狭心症等の心臓に関わる病気を調べます

● 胃部エックス線検査

▶ 食道や胃、十二指腸の状態を調べます

● 胸部エックス線検査

▶ 肺や気管支の状態を調べます

肺 胃 大腸 子宮 乳房

協会けんぽの生活習慣病予防健診は**5大がん**までカバー！

1. 生活習慣病予防健診について

協会補助額
(1人当たり)
最高**14,135円**
(一般健診の場合)

健診内容

! 年度内にお一人様につき1回、健診費用の一部を補助します

健診の種類	検査の内容	対象者	自己負担額
一般健診	血液検査や尿検査などの一般的な検査に胃、大腸、肺のがん検診を加えた健診です。 ※35～39歳の方は、胃・大腸のがん検診を省略できます。	35歳～74歳の方 (75歳の誕生日前日まで毎年受診可)	最高 5,500円
	医師が必要と判断した場合に限り、眼底検査を併せて受診可能です。		最高 80円
	問診の結果、50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)が600以上の方のうち希望者は、喀痰検査を併せて受診可能です。		最高 590円
子宮頸がん検診 (単独受診)	子宮の入り口(子宮頸部)の細胞を調べ、がんやその前段階の異常の早期発見を目的とした検診です。	20歳～38歳の偶数年齢の女性の方	最高 990円
節目健診 NEW	一般健診の検査項目に尿の詳しい検査や腹部超音波、眼底検査などを加えた、5年に1度受診できる、より詳細な健診です。	40歳、45歳、50歳、55歳、 60歳、65歳、70歳の方	最高 8,280円 ※一般健診との合計額

※自己負担額の金額は令和8年度の金額です

1. 生活習慣病予防健診について

＋ 一般健診・節目健診に追加できる健診 ! 単独受診はできません

健診の種類	検査の内容	対象者	自己負担額
子宮頸がん検診	子宮の入り口(子宮頸部)の細胞を調べ、がんやその前段階の異常の早期発見を目的とした検診です。	一般健診を受診する 36歳～74歳 の偶数年齢の女性の方 ※36歳、38歳の女性は子宮頸がん検診の単独受診も可 ※20歳、30歳の女性は一般健診(若年)に追加受診も可	最高 990円
乳がん検診	乳房のエックス線撮影(マンモグラフィ)で、しこりなどの異常の早期発見を目的とした検診です。	一般健診を受診する 40歳～74歳 の偶数年齢の女性の方	50歳以上 最高 980円 40歳～48歳 最高 1,700円
肝炎ウイルス検査	血液検査でB型肝炎とC型肝炎の感染の有無を調べる検査です。	一般健診を受診する方のうち、過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方	最高 540円

※自己負担額の金額は令和8年度の金額です

生活習慣病予防健診は、令和8年度以降もご利用いただけます。

目次

1. 生活習慣病予防健診について

(令和8年度以降もご利用いただけます。)

2. 令和8年度以降の健診体系の見直しについて

2. 健診体系の見直しについて

令和8年度より健診費用の補助を拡大します

①人間ドック定額補助の実施	②若年層を対象とした健診補助の実施	③検査項目の拡大
35歳～74歳	20歳、25歳、30歳	「骨粗しょう症検診」 (40歳以上の偶数年齢の女性) 自己負担額 最高1,390円
25,000円の定額補助	自己負担額 最高2,500円	「喀痰検査」
一般健診の検査項目に血液の詳しい検査や眼圧検査、医師による健診結果の説明などを加えた、より詳しく体の状態を調べることができる、検査項目が一番多い健診	一般健診の項目から大腸がん、胃がん検査を除いた健診	(50歳以上で1日に吸うたばこの本数×喫煙年数(喫煙指数)が600以上の方に実施する肺がんの検査) 自己負担額 最高590円

2. 健診体系の見直しについて

①人間ドック定額補助の実施

検査の内容	対象者	補助額
一般健診の検査項目に血液の詳しい検査や眼圧検査、医師による健診結果の説明などを加えた、より詳しく体の状態を調べることができる、検査項目が一番多い健診	35歳～74歳	25,000円の定額補助 〔例：総額50,000円の場合、 25,000円の補助 総額20,000円の場合、 20,000円の補助〕

兵庫県内で協会けんぽの費用補助が受けられる健診機関は

・生活習慣病予防健診 139機関
(その他出張健診もあり)



生活習慣病予防健診
実施機関一覧はこちら

・人間ドック 43機関
(令和8年4月以降、補助開始)



人間ドック健診
実施機関一覧はこちら

(※令和8年2月時点)

2. 健診体系の見直しについて

②若年層を対象とした健診補助の実施

検査の内容	対象者	自己負担額
一般健診の項目から大腸がん、胃がん検査を除いた健診	20歳、25歳、30歳	最高2,500円

就業等により生活習慣が大きく変化する若年層に対して、早期に生活習慣病対策を行うことや、健康意識の向上を図ることで、加入者の自主的な健康増進および疾病予防の取り組みを推進することを目的としています。

2. 健診体系の見直しについて

③検査項目の拡大

検査項目	検査の内容	対象者	自己負担額
骨粗しょう症検診	骨の中にあるカルシウムやマグネシウム等の成分量を測定することで、骨粗しょう症の予防と早期発見を目的とした検診	40歳以上の偶数年齢の女性が一般健診に追加して受診可能	最高1,390円
喀痰検査	50歳以上で1日に吸うたばこの本数×喫煙年数（喫煙指数）が600以上の方に実施する肺がんの検査	50歳以上で喫煙指数が600以上の方のうち、希望者が一般健診に追加して受診可能	最高590円

2. 健診体系の見直しについて

令和9年度以降の健診体系の見直しについて

被扶養者（ご家族様）に対する健診の拡充

被扶養者（ご家族様）に対する健診について、被保険者（ご本人様）に対する見直し後の人間ドックや生活習慣病予防健診と同等の内容に拡充予定です。
なお、現行の特定健診の枠組み（医療機関や診療所、クリニック、集団健診等での受診）は今後も継続されます。

2. 健診体系の見直しについて

健診から始まるサイクルで、3つの「もったいない」をやっていませんか？

「健診受けない」もったいない



01 健診を
毎年受けていますか？

協会けんぽ加入者は健診をお得に受けられるのに、受けないのはもったいない。

健診を受けて健康状態を確認

「受けっぱなし健診」もったいない



02 健診を受けっぱなしに
していませんか？

せっかく健診を受けても、改善につなげなければもったいない。

健診結果に応じて行動することで
健康状態を改善

「健康づくりを継続しない」もったいない



03 日々の健康づくりに
取り組んでいますか？

良好な健康状態になっても、それを継続しないのはもったいない。

食事や運動に気をつけて、
良好な健康状態を維持

2. 健診体系の見直しについて

各健診の検査項目の比較

検査項目		人間ドック	節目健診	生活習慣病 予防健診	事業者 健診	特定 健康診査	検査項目	人間ドック	節目健診	生活習慣病 予防健診	事業者 健診	特定 健康診査		
診察等	問診	○	○	○	○	○	血液一般	赤血球数	○	○	○	■	□	
	業務歴				○			白血球数	○	○	○			
	自覚症状	○	○	○	○	○		血小板数	○	○				
	他覚症状	○	○	○	○	○		末梢血液像		○				
	身体計測	身長	○	○	○	□		○	MCV	○				
		体重	○	○	○	○		○	MCH	○				
	BMI・標準体重	○	○	○	○	○		MCHC	○					
	肥満度	○						CRP	○					
	腹囲	○	○	○	■※	○		血液型 (ABO Rh)	◎					
	血圧 (収縮期/拡張期)	○	○	○	○	○		HBs抗原	○	◎	◎			
心拍数	○					腎機能	尿蛋白	○	○	○	○	○		
視力	○	○	○	○	○		潜血	○	○	○				
聴力	○	○	○	○	○		尿沈渣顕微鏡検査	□	○					
脂質	総コレステロール	○	○	○			血清クレアチニン (eGFR)	○	○	○	□	□		
	空腹時中性脂肪	○	○	○	■	○	心機能	心電図	○	○	○	■	□	
	随時中性脂肪		■※※	■※※	■※※	■※※	肺	胸部エックス線検査	○	○	○	○		
	HDL-コレステロール	○	○	○	■	○		喀痰細胞診		□	□	□		
	LDL-コレステロール	○	▲	▲	▲	▲	呼吸機能	努力肺活量	○	○				
non-HDL-コレステロール※1	○	▲	▲	▲	▲	1秒量 (対標準1秒量)		○	○					
肝機能	AST (GOT)	○	○	○	■	○		1秒率	○	○				
ALT (GPT)	○	○	○	■	○	%肺活量	○	○						
γ-GT (γ-GTP)	○	○	○	■	○	眼底	○	○	□		□			
ALP	○	○	○			眼圧	○							
代謝系	空腹時血糖	○	▲	▲	▲	▲	骨粗しょう症 検診	骨密度		◎	◎			
	随時血糖※2		▲	▲	▲	▲	胃	胃部エックス線検査※3	○	○	○※			
	HbA1c	○	▲	▲	▲	▲	腹部超音波検査		○	○				
	尿糖	○	○	○	○	○	大腸	便潜血	○	○	○※			
	尿酸	○	○	○			医師による結果説明		○					
	総蛋白	○	○				保健指導		○					
	アルブミン	○	○				オプション検査	上部消化管内視鏡	◎	◎	◎			
	総ビリルビン	○	○					乳房診察+マンモグラフィ	◎	◎	◎			
	アミラーゼ	○	○					乳房診察+乳腺超音波検査	◎					
	LDH	○	○					婦人科診察+子宮頸部細胞診	◎	◎	◎			
血液一般	ハマトクリット値	○	○	○		□		PSA	◎					
血色素量 (ハモグロビン値)	○	○	○	■	□	HCV抗体	◎	◎	◎					

2. 健診体系の見直しについて

各健診の検査項目の比較

○検査項目表の注釈

- ・・・必須項目
- ※・・・20歳、25歳、30歳は検査項目に含まない
- ◎・・・オプション項目または本人の申出により省略可の項目
- ▲・・・いずれかの項目でも可
- ・・・医師の判断に基づき実施する項目
- ・・・35歳及び40歳以上の者については必須、それ以外の者については医師の判断に基づき選択的に実施する項目
- ※・・・35歳及び40歳以上の者については必須、ただし妊娠中その他の者であって腹囲が内臓脂肪の蓄積を反映していないと判断された者、BMIが20未満の者及び自らが腹囲測定をし、その値を申告した者（BMIが22未満である者に限る）については医師の判断に基づき選択的に実施する項目
- ※※・・・やむを得ず空腹時以外に採血を行った場合、随時中性脂肪により検査を行うことを可とする
- ※1・・・中性脂肪が400mg/dl以上や食後採血の場合、LDLコレステロールの代わりにnon-HDLコレステロールにより血中脂質検査を行うことを可とする
- ※2・・・食事開始後3.5時間以上経過していること
- ※3・・・本人の希望等により胃内視鏡検査に代えることができる

